2004年8月6日

2004年度第1四半期（2004年6月期）IR補足説明資料

双日ホールディングス株式会社

売上総利益（事業セグメント別）

（単位：億円）

	04/4-6（実績）	03/4-6（実績）	増減	対前年同期実績 主な増減理由
機械・宇宙航空	99	101	△ 2	新造船・中古船売買取引および航空機関連取引の減少（△9）、欧州自動車事業会社の売却による影響（△4）、ベネズエラ自動車組立・販売会社の増益（＋6）、船舶保有会社の増益（＋4） など
エネルギー・金属資源	82	80	2	エネルギー資源事業の増益（＋3）、豪州アルミ生産子会社の増益（＋3）、中国からの鋳物コークス輸入取扱い増加による増益（＋2）、前年同期にスポット取引（スペイン電力会社向けプラント、米国向け橋梁工事代行取引）があったことによりプラント事業で減益（△4）、韓国向け軽油取引減少 など
化学品・合成樹脂	109	107	2	市況の安定推移によるメタノール製造・販売子会社の増益（＋3）、肥料事業や中国における自動車用塗料原料取引での増益、樹脂成形品製造会社（第一化成）等の連結除外による減益（△6） など
建設都市開発	42	25	17	前年同期に大口案件があったことにより当第1四半期はマンション事業で減益（△16）となるも、不動産売買取引、ショッピングセンターおよび物流センター建設事業等で増益
木材	33	22	11	市況が低迷した前年同期に対し、当第1四半期は木材製品市況が堅調に推移したため、木材製品販売子会社（サン建材）を中心に取引拡大による増益 など
食料	35	32	3	三国間小麦取引の取扱い増加および不採算取引からの撤退による収益改善等で増益
物資・リテール	36	33	3	ベトナム合弁工場のフル稼働によるチップ植林事業での増益、前期中の新規出店によるなか卯の増益 など
繊維	49	45	4	アパレル取引の減少、ホームファッション関連商品の小売向け取扱いの低迷があるも、第一紡績を連結したこと（＋7）などにより増加
海外現地法人	57	68	△ 11	鉄鋼製品事業譲渡の影響による減少（△4）、円高の影響（△2）のほか、前年同期に利益貢献した一過性の欧州の機械取引が減少した影響（△2） など
その他	46	73	△ 27	情報関連会社（日商エレクトロニクス）の連結子会社化による増加（＋22）があるも、鉄鋼製品事業譲渡の影響（△15）、鉄鋼薄板類等の加工・販売会社（スズヤス）等の連結除外による影響(△12）などにより減少
合 計	588	586	2	